

第41期 報告書

平成19年4月1日 ~ 平成20年3月31日



立山貫光ターミナル株式会社

19年度事業概況 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

当期のホテル立山ならびに弥陀ヶ原ホテルは、立山～信濃大町間の部分開通に合わせ4月10日から営業を再開し、アルペンルート営業終了の11月30日まで営業いたしました。

当期の営業経過といたしましては、ホテル立山では、3月25日に発生した能登半島地震の風評被害等により、4月、5月の宿泊人員は前年を大きく割り込み、大変厳しいスタートとなりました。6月は前年を上回ったものの、7月16日に再び発生した中越沖地震等の影響により、最盛期である7月、8月とも振るわず、低調に推移いたしました。紅葉期以降は、団体客を中心に順調に推移いたしましたが、シーズン全体を通して宿泊人員は、32,347人(対前年99%)にとどまりました。

弥陀ヶ原ホテルにつきましても、ホテル立山同様、地震等の影響により、4月、5月は、前年を大きく割り込みましたが、6月以降は、一般個人客を中心に順調に推移しました。しかしながら、春先の落ち込みを最後まで取り戻すことができず、宿泊人員は14,823人(対前年97%)となりました。

またレストラン立山を中心とした食堂部門では、訪日団体の著しい増加により、団体昼食が順調に推移しましたが、全体で前年を若干下回る結果となりました。

売店部門につきましては、アルペンルート入込客減少の影響もあり、大幅に前年を下回りました。

この結果、当期の売上高は、ホテル立山宿泊収入6億82百万円(対前年100%)、弥陀ヶ原ホテル3億38百万円(対前年96%)、レストラン立山4億7百万円(対前年99%)、ターミナル売店4億98百万円(対前年93%)、雑収入6百万円(対前年83%)となり、これにビル賃貸収入1億74百万円(対前年100%)を加えた売上高合計は21億7百万円(対前年97%)となりました。さらに営業外収益13百万円を加えた収益合計は21億20百万円(対前年97%)となった次第であります。

次に営業費につきましては、経営全般にわたる一層の効率化に努めました結果、20億76百万円(対前年93%)となり、これに営業外費用5百万円を加えた費用合計は20億81百万円(対前年93%)となりました。

以上により、当期の経常利益は39百万円となり、これに特別損益、法人税ならびに税効果会計による法人税等調整額を加減して、当期純利益は16百万円を計上することとなりました。

ホテル立山宿泊営業成績表（平成19年度）

項目	実績	前年比%
宿泊営業日数	日 234	100
宿泊人員	人 32,347	99
一日平均宿泊者数	人 138	99
売上高	千円 682,746	100
宿泊収入	千円 679,781	100
一日平均収益	千円 2,905	100
客室回転率	% 69	100
宿泊効率	% 52	99

（備考）営業日数 平成19年4月10日～平成19年11月30日まで235日

弥陀ヶ原ホテル営業成績表（平成19年度）

項目	実績	前年比%
宿泊営業日数	日 234	100
宿泊人員	人 14,823	97
一日平均宿泊者数	人 63	97
売上高	千円 338,255	96
宿泊収入	千円 282,539	97
食堂収入	千円 21,766	87
売店収入	千円 32,927	90
一日平均収益	千円 1,439	96
客室回転率	% 54	99
宿泊効率	% 36	95

（備考）営業日数 平成19年4月10日～平成19年11月30日まで235日

飲食および物品販売業営業成績表（平成19年度）

項目	レストラン		ターミナル		計	前年比%
	立山	前年比%	売店	前年比%		
営業日数	日 235	100	235	100	235	100
室堂到着人員	人 792,247	93	792,247	93	792,247	93
利用人員	人 277,232	100	-	-	-	-
一日平均利用者数	人 1,179	100	-	-	-	-
売上高	千円 407,031	99	504,706	93	911,738	96
売上額	千円 407,031	99	498,145	93	905,177	96
雑収入	千円 0	-	6,560	83	6,560	83
一日平均収益	千円 1,732	99	2,147	93	3,879	96
室堂到着人員	人 513	107	637	100	1,150	103
一人当たり利用額	円 513	107	637	100	1,150	103

（備考）営業日数 平成19年4月10日～平成19年11月30日まで235日

財産および損益の状況の推移

区分	第38期 (平成16年度)	第39期 (平成17年度)	第40期 (平成18年度)	第41期(当期) (平成19年度)
売上高(千円)	2,204,889	2,183,971	2,161,725	2,107,070
当期純利益(損失)(千円)	23,176	△22,493	△41,030	16,303
1株当たり当期純利益(損失)	25円75銭	△24円99銭	△45円59銭	18円11銭
総資産(千円)	2,357,738	2,350,015	2,156,343	1,988,587

平成20年度の取り組み

1 営業力の強化

ホテル販売および団体客の昼食については、アルペンルート営業部門と一体となった誘客の促進に努めることとし、今後とも旅行業界の動向を注視し、旅行代理店との協力関係を強化して、旅行商品の企画・販売促進に努めて参ります。

2 個人客・リピーターの増加

近年インターネットによる予約は急速に増加しています。今後、自社ホームページや宿泊予約サイトなどインターネットを利用した予約を積極的に取り込むため、新鮮で魅力的な情報発信や宿泊予約サイトとの連携強化により、柔軟で効率的な客室販売に努めて参ります。

また「ゲスト会員制度」や「立山アルペン倶楽部」などの個人会員制度をより一層充実させることにより、更なるホテルファンの獲得にも努めて参ります。

3 顧客満足度の向上

当社では山岳リゾートホテルの特長を活かした高原散策やスライド上映などホテルならではのサービスとスターウォッチングなど企画イベントを実施しております。今後も企画の充実を図るとともに、基本である食事や接客サービスの向上を通じた顧客満足度の向上を図り、リピーターの確保と新規顧客の獲得に努めて参ります。

4 食堂・売店部門の強化

レストランでは団体客の昼食の減少に歯止めをかけるとともに、訪日団体の急増にも対応してきました。今後ともメニュー内容の見直しと充実を図り、更に個人客にも利用しやすい施設となるよう努めて参ります。

売店部門では近年、旅客数の減少以上に減収傾向が見られます。20年度におきましては、商品開発、店舗の見直し、運輸事業との連携等によって、購買単価のアップを中心に収益力の強化を図って参ります。

5 宿泊施設の安全確保

ホテル事業を営む当社にとりまして、安全の確保は当然の責務であり、施設設備の安全には今後とも万全を尽くして参ります。近年、重大事故・偽り等の不祥事が相次いでいるところから、お客様の安全に対する関心が高く、会社も安全に対する社会的責任が厳しく問われております。当社では、日常の点検と整備を徹底し、お客様に安心・信頼・信用してご利用いただけるよう努めて参ります。

6 経営基盤の確立

当社では上記の営業力の強化と顧客満足度の向上を通じて、積極的な増収策を講じて参ります。

また、安定した経営基盤の確立のため、顧客サービス重視の視点から経営資源の配分を見直し、無駄を省き、経営の効率化を進めて参ります。

財務諸表

貸借対照表の要旨

(平成20年3月31日現在)

		(単位: 百万円)	
科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	308	流動負債	238
現金及び預金	245	買掛金	6
未収金	9	短期借入金	151
商品	2	未払金	13
貯蔵品	33	未払費用	5
前払金	1	未払法人税等	7
繰延税金資産	17	未払消費税等	17
		預り金	1
		賞与引当金	35
固定資産	1,679	固定負債	386
有形固定資産	1,156	長期借入金	83
土地	119	退職給付引当金	294
建物	671	役員退職慰労引当金	8
建物附属設備	170		
構築物	129	負債合計	625
機械及び装置	20		
器具及び備品	45	(純資産の部)	
無形固定資産	2	株主資本	1,354
ソフトウェア	1	資本金	900
電話等加入権	1	利益剰余金	454
投資その他の資産	521	その他利益剰余金	454
投資有価証券	192	繰越利益剰余金	454
関係会社株式	184	評価・換算差額等	8
繰延税金資産	114	その他有価証券評価差額金	8
その他	30	純資産合計	1,363
資産合計	1,988	負債・純資産合計	1,988

損益計算書の要旨

(平成19年4月1日から20年3月31日まで)

		(単位: 百万円)	
科目	金額	科目	金額
売上高	2,107		
売上原価	531		
売上総利益	1,575		
販売費及び一般管理費	1,545		
営業利益	30		
営業外収益	13		
営業外費用	5		
経常利益	39		
特別利益	1		
特別損失	8		
税引前当期純利益	32		
法人税 住民税及び事業税	6		
法人税等調整額	9		
当期純利益	16		

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。また、消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

株主資本等変動計算書

(平成19年4月1日から20年3月31日まで)

(単位: 百万円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本合計	評価・換算差額等 その他 有価証券 評価差額金	
		その他	利益剰余金			
		繰越利益剰余金	合計			
前期末残高	900	438	438	1,338	11	1,350
当期変動額						
当期純利益		16	16	16		16
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					△2	△2
当期変動額合計	0	16	16	16	△2	13
当期末残高	900	454	454	1,354	8	1,363

会社概要／役員

(平成20年3月31日現在)

●設立年月日
昭和42年12月24日

●資本金
9億円

●発行済株式総数
900,000株

●株主数
2名 立山黒部貫光株式会社
富山地方鉄道株式会社

●役員
代表取締役社長 中村憲史
専務取締役 総務部長 間坂通夫
取締役 桑名博勝
取締役 高田一仁
取締役 ホテル業務部長 佐伯博
取締役 経営監査室長 村井宏光
取締役 経営企画室長 堀内和夫
取締役 経理部長 佐川栄
監査役 松岡彰
監査役 川岸宏
監査役 稲田一朗

トピックス (ホテル立山・弥陀ヶ原ホテルイベント)

◆スターウォッチング

立山の澄んだ空気と静寂の中、瞬く星の語らいに耳をかたむけ、それぞれの星空をお楽しみください。

ホテル立山 合計10回

5月10日(土)	5月31日(土)
6月7日(土)	6月28日(土)
7月5日(土)	8月30日(土)
9月27日(土)	10月4日(土)
10月25日(土)	11月1日(土)

弥陀ヶ原ホテル 合計11回

5月17日(土)	6月7日(土)
6月14日(土)	6月21日(土)
6月28日(土)	7月5日(土)
8月2日(土)	8月30日(土)
9月27日(土)	10月25日(土)
11月1日(土)	

※毎回、富山県天文学会の講師の方より星の説明があります。

◆ホテル周辺散策会

毎日
開催

参加
無料

スタッフが一緒に、四季折々の立山を初心者にもわかりやすくご案内いたします。

ホテル立山

内 容 ホテルスタッフが室堂周辺の見所をご参加の皆様と一緒に歩きながらご紹介します。

集 合 フロントロビー

時 間 16:00頃～約1時間

※季節により出発時刻を変更します。

※悪天候時は中止します。

コース みくりが池 → エンマ台 →
みどりが池 → 室堂山荘

弥陀ヶ原ホテル

内 容 ホテルスタッフが弥陀ヶ原の見所をご参加の皆様と一緒に歩きながらご紹介します。

集 合 フロントロビー

時 間 16:15頃～約1時間

※開催時間変更の場合は掲示版にてご案内します。

※悪天候時は中止します。

コース 弥陀ヶ原高原周辺
※天候・残雪の状況によりご案内場所を変更します。

お問い合わせ：ホテル立山 TEL (076) 465-3333、弥陀ヶ原ホテル TEL (076) 442-2222

ホテル立山・弥陀ヶ原ホテル・宇奈月国際ホテル

ホテル3館共通会員特典のご案内

宇奈月国際ホテルを含むホテル3館では立山黒部の大自然の中でごゆっくりと、くつろいだ時間をお過ごしいただけるようサービスの充実に努めております。とりわけアルペンルート内と宇奈月温泉にて連泊（滞在型）のご予定のお客様にはゲスト会員共通特典が大変お得ですので、どうぞご利用ください。

会員費無料

申込無料

特典1 宿泊料金10%OFF^{※1}

（ご紹介の方も含めてご利用いただけます）

特典2 連泊割引・2泊目以降すべて20%OFF^{※2}

特典3 コーヒー券プレゼント^{※3}

特典4 館内施設ご利用代10%OFF^{※4}（売店は5%）

特典5 館内貸出品無料^{※5}

（スノーシュー・トレッキングシューズなど）

- ※1 ホテル直接予約に限ります。ネットプラン等のサービスプランとの重複割引は適用いたしません。
- ※2 同一ホテル連泊又は、3館の内2館各々一泊以上宿泊につき割引いたします。
- ※3 ご宿泊1泊分の人数分をお渡しいたします。
- ※4 レストラン・ラウンジ等 各々ホテルにより範囲が異なります。
- ※5 各館により貸出品目が異なります。

ホテル3館のご案内



ホテル立山

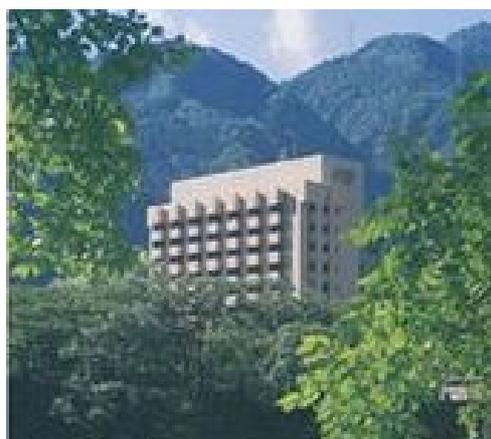
〒930-1414 富山県中新川郡立山町芦峯寺室堂
☎ (076) 465-3333 FAX (076) 465-3336
<http://www.alpen-route.co.jp/h-tateyama/>



弥陀ヶ原ホテル

〒930-1412 富山県中新川郡立山町芦峯寺弥陀ヶ原
☎ (076) 442-2222 FAX (076) 442-2242
<http://www.alpen-route.co.jp/midagahara-h/>

ホテル立山・弥陀ヶ原ホテル 予約専用ダイヤル 076(465)3800



姉妹館 立山黒部貫光(株)

黒部峡谷宇奈月温泉 宇奈月国際ホテル

〒938-0282 富山県黒部市宇奈月温泉7-26
☎ (0765) 62-1236 FAX (0765) 62-1808
<http://www.alpen-route.co.jp/unazukikokusaihotel/>

(編集・発行) 立山貫光ターミナル株式会社

〒930-8558 富山県富山市桜町1-1-36

☎ (076) 441-3331 (代表) FAX (076) 432-9056